

平成 17 年度 江戸川区「行政評価」事務事業分析シート

整理番号	23	作成日	平成 17 年 6 月 20 日
事業名	知的障害者通所更生施設		
所属名	福祉部希望の家・虹の家・みんなの家・えがおの家	電話番号	3680-1531

事業の目的・課題	<b>事業の目的及び概要</b>
	知的障害者福祉法に基づき知的障害を持つ人々に対して、日常生活活動や社会活動を行うことによって、社会生活能力の開発及び日常生活の充実を図ります。
	<b>事業の開始年度</b> 希望の家S62.4、虹の家S63.4、みんなの家H5.4、えがおの家H12.7
	<b>現在の課題</b>
	新規入所者の増に対し、施設の受入枠は限界が近づいており、2～3年中には定員いっぱいとなります。障害者自立支援法が現在国会で審議中であり、施設の再編と制度改正に向けた対応が焦眉の課題です。

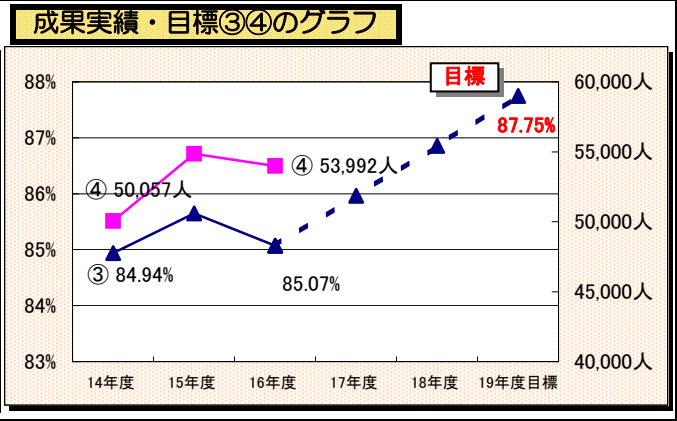
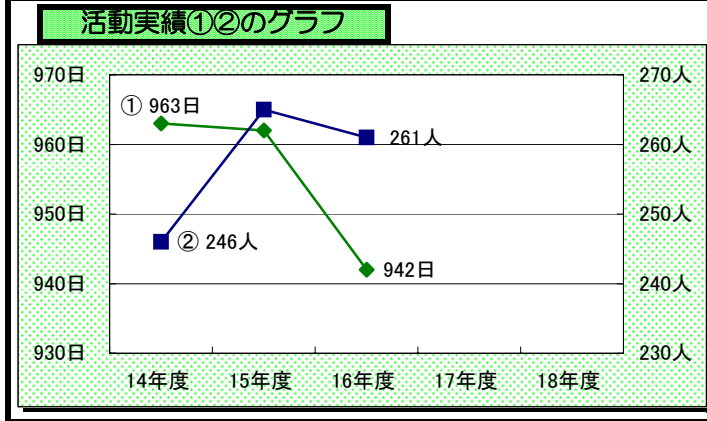
対象	<b>事業の対象者と動向</b>	<input type="checkbox"/> 区民全体 <input type="checkbox"/> 対象年齢あり ( )										
	[利用者数・各年4月1日現在]	<input checked="" type="checkbox"/> 対象条件 (知的障害者 )										
	<table border="1"> <tr> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>対象の傾向</th> </tr> <tr> <td>246人</td> <td>265人</td> <td>261人</td> <td>279人</td> <td></td> <td>↗ 増加傾向</td> </tr> </table>	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向	246人	265人	261人	279人	
14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向							
246人	265人	261人	279人		↗ 増加傾向							
備考：	平成18年度は民間更生通所施設(定員30人)の開所が予定されており、若干の緩和が見込めますが、さらに施設建設の検討が必要です。区立施設の定員は292人。											

活動状況	<b>活動指標</b>	活動指標名	活動指標の説明
	①	四施設延べ活動日数	四施設の活動日数の合計
	②	利用者数	四施設を利用した人数 (各年4月1日現在)

活動実績		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
	①	963日	962日	942日	日	日
	②	246人	265人	261人	人	人

成果指標	<b>成果・目標指標</b>	成果・目標指標名	成果・目標指標の説明
	③	利用者出席率	利用者ののべ出席数を全利用者の延べ活動予定日数で除した割合
	④	出席延べ人数	利用者の出席延べ人数

成果実績・目標		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度目標	目標値設定の説明
	③	84.94%	85.65%	85.07%	0.00%	0.00%	87.75%	14～15年度の出席率上昇率をもとに設定しました。
	④	50,057人	54,842人	53,992人	人	人		



# 事業名 知的障害者通所更生施設

実施の根拠となる法令等

知的障害者福祉法  
江戸川区知的障害者援護施設条例

民間委託やボランティアなどとの協働の状況

なし  あり

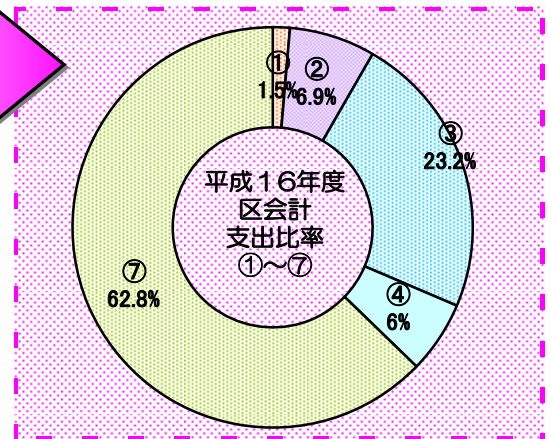
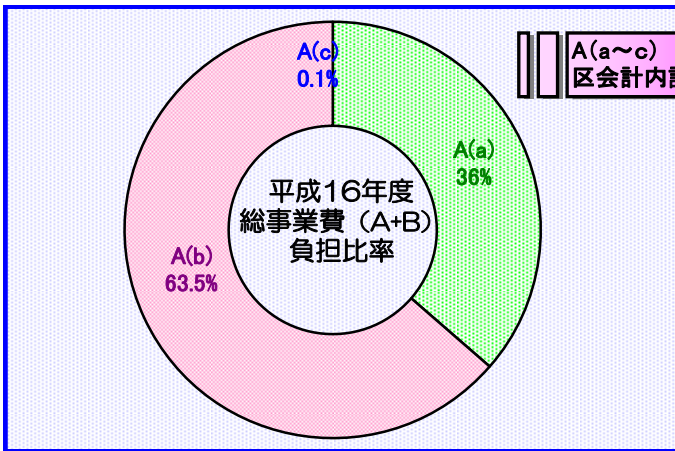
委託等の内容（管理運営委託）

対象事業に関連する他の事業

	事業名	事業概要
①	みんなの家	平成16年度より指定管理者制度を導入
②		
③		

その他背景・他の自治体の状況等

16年度総事業費 (A+B) 1,298,895千円



A 区の会計内訳 (a～c) 1,298,895千円

A(a) 支援費他 (歳入)	472,875千円	支援費自体は国が1/2、区が1/2を負担
A(b) 区負担分	825,246千円	支援費で不足する分
A(c) 受益者負担 (歳入)	774千円	利用者負担金

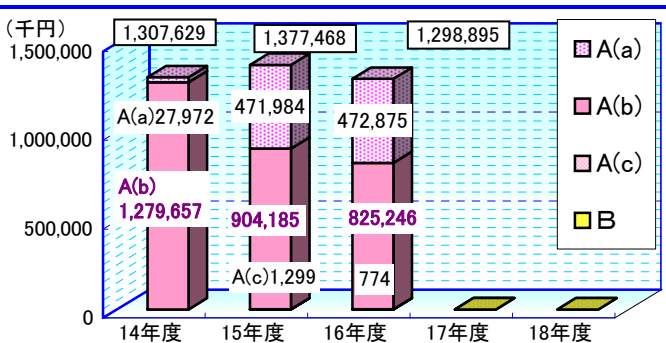
支出内訳 (①～⑦)

① 希望の家	18,856千円	運営費、事業実施費、維持補修費
② 虹の家	89,378千円	運営費、事業実施費、維持補修費
③ みんなの家	300,742千円	委託料 (うち人件費 200,067千円)
④ えがおの家	74,138千円	運営費、事業実施費、維持補修費
⑤		
⑥		
⑦ 人件費	815,781千円	

B 利用者が事業者等へ直接支払う額

0千円	なし
-----	----

総事業費の経年変化 (14年度～)



ア 常勤職員	90.0人
イ 非常勤職員	31.0人
ウ 臨時職員	4.0人

16年度の 利用者一人あたりの経費

4,976,609円/年

経費の説明

職員の人件費が主で、他に施設運営費や日常・まつり等の事業経費、施設の維持費、みんなの家の委託経費にはみんなの家職員の人件費を含みます

ほぼ全額公費負担です

# 平成17年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

<b>整理番号</b>	23	<b>事業名</b>	知的障害者通所更生施設
-------------	----	------------	-------------

**所属名** 福祉部希望の家・虹の家・みんなの家・えがおの家

## 所 管 課 長 評 価

そう思う ←→ そう思わない

	評価項目	評点	5	4	3	2	1	備 考
<b>【必要性・代替性】</b>								
1	区が実施すべき事業である。			○				
2	目的を達成するために他の手段がある。						○	
<b>【実績】</b>								
3	目的を果たすために有効な事業である。		○					
4	事業の成果を上げている。		○					
<b>【公平性】</b>								
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。			○				
6	受益者負担を検討する必要がある。		○					
<b>【協働の可能性】</b> ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価								
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。		○					
8	民間委託の可能性はある。		○					
<b>【効率性】</b>								
9	工夫や改善が必要である。				○			
10	経費を削減できる可能性がある。				○			

## 所 管 部 長 の 意 見

区立の知的障害者通所更生施設の利用者は重度の障害者が多く、施設の重要度は高い。しかし、運営については指定管理者制度の活用を進めるべきである。

# 平成17年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

<b>整理番号</b>	23	<b>事業名</b>	知的障害者通所更生施設
-------------	----	------------	-------------

<b>所属名</b>	福祉部希望・虹・みんな・えがおの家
------------	-------------------

## 外部評価委員会評価

そう思う ← → そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
<b>【必要性・代替性】</b>							
1	区が実施すべき事業である。	○					
2	目的を達成するために他の手段がある。		○				
<b>【実績】</b>							
3	目的を果たすために有効な事業である。	○					
4	事業の成果を上げている。	○					
<b>【公平性】</b>							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。		○				
6	受益者負担を検討する必要がある。		○				
<b>【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価</b>							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。	○					
8	民間委託の可能性はある。	○					
<b>【効率性】</b>							
9	工夫や改善が必要である。		○				
10	経費を削減できる可能性がある。		○				

## 外部評価委員会の意見

・知的障害者とその能力を発揮できる場所として、このような施設が必要であると思う。他の人に評価されることで、いきいきとした生活ができるようになると思う。今後も事業の継続を望む。  
 ・本人のみならず、親にとっても高齢化による不安感など、心の支えが必要であり、このような事業は心強く感じられることだと思う。  
 ・今後、施設が不足するよう状況も想定されるが、必要な事業であり、民間活力導入の可能性等も検討しながら、適切に事業を実施してほしい。